

令和2年第9回 定例会 蓮田市教育委員会会議録

招集年月日	令和2年9月23日	開会場所	蓮田市役所西棟第3会議室			
開会の日時 及び宣告者	令和2年9月23日 午前9時30分 教育長 西山通夫					
教育長	蓮田市教育委員会教育長 西山通夫					
招集状況 及び出席状況	席次	氏名	備考	席次	氏名	備考
	1	西山通夫	出席	4	塚本聖子	出席
	2	飯野和之	出席	5	渡邊陽子	出席
	3	増田孝	出席	書記	岩崎恵美	
議事参与者	<p>学校教育部長 増田勝弘</p> <p>生涯学習部長 新井宏典</p> <p>生涯学習部次長兼保育課長 田中和之</p> <p>生涯学習部次長兼社会教育課長 小宮雪晴</p> <p>生涯学習部次長兼文化スポーツ課長 山田則子</p> <p>教育総務課長 鈴木聖雄</p> <p>学校教育課長 高月章浩</p> <p>子ども支援課長 小林考一</p>					
傍聴者	なし					

会議の進行状況・顛末

開 議 令和 2年 9月23日 午前9時30分

西山教育長、開会を宣言する。

西山教育長の命により事務局、前回会議録（第8回定例会）を朗読する。

西山教育長の命により塚本委員、渡邊委員 前回会議録に署名する。

教育長の報告

西山教育長から、以下の報告がなされた。

1. 長欠児童・生徒数について
2. 9月蓮田市議会定例会の一般質問について
3. 令和2年度いじめ問題対策連絡協議会について
4. 蓮田市教育委員会学校教育表彰について
5. 放射線の測定値について
6. その他

報告事項についての質疑

渡邊委員 新型コロナウイルス感染症で、学校で陽性者が出たときに、保護者間で陽性者を探す行動もなく、また子供達も比較的落ち着いて対応をしていました。これは、蓮田市の対応が良かったのではないかという印象を持ちました。実際の学校生活で、学校側からいじめ等の問題の報告は上がってきているのでしょうか。

高月課長 ご質問の件については現在は、いじめ問題等の報告は受けていません。

西山教育長 報告は受けていません。学校へ復帰した子供も馴染んでいます。

今、新型コロナウイルス感染症の影響で、授業時間数が減ってしまうことを心配しています。もうこれ以上学校に、授業時間数の不足分を調整することを頼むことは難しいですし、子供達もかわいそうです。しかし、県の教育委員会では、授業時間数は減らないようにと話があり対応に苦慮しています。

渡邊委員 修学旅行や林間学校の実施は、学校の判断ですが、保護者の中でも行かせたくない保護者が出てきていますが、行かない子供に対し、いじめが起きないか、行けないことで計画の作成に入れない子供がいるのではないかと心配ですが、いかがでしょうか。

高月課長 保護者の中に、行事に参加させることについて、心配の声も聞いています。ただ、教育的価値という面では、行事に参加させることは、大変有意義なことだと認識をしていますので、今後は、学校の状況に応じて、行事を学校判断で実施する予定です。

西山教育長 事前の計画作成の話し合いに参加することは、構わないと思います。一部の保護者の方は、行事に参加させることを止めていると思いますが、子供は、参加したい気持ちがあると思います。中学校では、参加させたくない保護者は少なく、小学校は、多少いらっしやる状況です。修学旅行で一番心配していることは、蓮田中学校が、朝、蓮田駅から電車を利用しますので、時間帯によっては大宮駅に出るまでの間で、色々な人と触れ合うことが心配です。また、修学旅行先の京都方面は、新型コロナウイルスが沈静化して、人出が多くなってきていて心配です。宿泊施設は、他校のキャンセルがでているので、部屋数を多く利用でき、密にならないので安心です。

渡邊委員 長欠児童のことで気になっていることがあります。この資料には、保健室登校の人数が掲載されていないのではと思いますが、保健室登校の把握はしていますか。

西山教育長 この資料の中には、保健室登校の子供も何人かは入っています。資料の中に入っていない子供も教育委員会では把握をしています。内容的には、長期にわたる保健室登校の子供もこの資料の中に入っていますので、問題はないと思います。短時間とか、あるいは全ての時間を保健室登校している子供はほとんどいません。そういう子供は、休んでしまいます。あるいは、相談室に行ったりしていますが、相談室へ行くと相談室へ行く子供だと分かっけてしまいますので、相談室ではなくて、保健室へ行く子供が多くなっています。相談室へ行かなくても窓口が多くなっていることではないかと思ひます。

塚本委員 この資料を見ますと、先生方がとても工夫をされていると感じます。また、ひとクラスに複数名の子供を指導している先生もいらっしゃるのかなど想像ができます。あとは、学校によって、温度差が感じられることが心配です。担任の先生以外の方が、ぜひバックアップの協力をしていただければありがたいと思ひます。

西山教育長 本当にそう思ひます。学校によっては、学校体制で対応している雰囲気のところもありますし、担任の先生に一任している学校もあるのではないかと思ひます。ただ、学級編成の問題や学級の作り方の問題もありますので、テコ入れをしないとイケないと思ひます。

塚本委員 子供の対応が難しいと、しっかり資料に書いている先生もいます。この先どう対応されるのか心配になったりします。一方で、子供の出席が増えてくると、来月の資料を見ることが、楽しみだったりもしています。

西山教育長 管理職の先生が、どれだけ先生方をバックアップできるかが、勝負だと思ひます。

塚本委員 先日の学校訪問の時に、資料の欄にお名前が書いてある子供が、授業に出席をしていて、私に合図をしてくれました。この様子を校長先生にお話をしたら、校長先生がとっても嬉しそうにしている、一生懸命生徒を見ているのだと感じ安心を致しました。校長先生のような先生が多い学校だと、子供達も伸びますし、頑張るのではないかと思ひました。

西山教育長 本当にそう思ひます。

増田委員 部活動が、大きな変換期に来ていると思うのですが、今までは部活動で、個性を伸ばすことや、興味関心を伸ばすこと、もうひとつは、生徒指導上の問題を把握して、きちんと指導をする部分があったと思ひます。部活動での関わり方が変わってくると、学校の中の生徒指導の見直しや、学級経営・学級指導等を再構築していかないと、子供達の状況を把握していくのが、非常に難しくなっていくかと思ひますが、その点はいかがでしょうか。

西山教育長 部活動で生徒指導を行っていたのは、15年ぐらい前のことだと思ひます。今の40代から55歳位の先生達は、部活動が生徒指導の場だと考えている先生はほとんどいないと思ひます。勝つということに重点を置いていて、部活動の中での振舞いについて、教えることはあると思ひますが、積極的に生徒指導をしている先生は、非常に少なくなっていると思ひます。

増田委員 部活動の組織を使い、学級経営をしている文化が、いまだに残っているのではないかと思ひています。確かに教育長さんが、今は部活動での生徒指導は、ほとんどないことだとおっしゃっていますが、実質、生徒や教員の根底の中には、部活動が生徒指導の場だという気持ちが残っていて、非常に難しい部分があるかと思ひます。

西山教育長 ふたつの考え方がありまして、ひとつは、部活動が減ることにより、やる気が落ちる先生がいると思ひます。このような先生の考え方を、変革していかねばならないと思ひます。部活動に費やしていた時間が減れば、クラス作りや、より良い授業作りにエネルギーを注ぐことができ、本来の姿に戻って学校経営のプラスになると思ひています。もうひとつは、部活動が民間へ移行されていきますので、民間のクラブの指導者と学校の先生の指導の乖離がないようにしていかねばならないと思ひます。この方策として、先ほどの一点目は、恐らく先生達は、学年経営、学級経営、教科経営に力を注ぐようになってくるはずですので、そんなに心配はしなくていいと思ひます。もう一つの方は、民間で指導していただいている人材を、教育委員会で調整することが大事だと思ひます。教育関係者のOBで人材バンクを構築し、そこに指導者を派遣し、講習会を開いていくことにより、民間委託による生徒指導のブレが解消されていくと思ひます。

増田委員 そうですね。そういう視点で考えると、学校と民間との連携も必要になってくると思いますし、教育委員会としても、指導者を派遣することで、全体の統一ができると思います。また、学校と協力ができる指導者の育成研修をしていかなければいけないと思います。

西山教育長 最終的な難しさは、高校入試だと思っています。私立高校が、スポーツで優秀な子供を、ヘッドハンティングしますので、そうしますと、民間クラブと私立高校の繋がりが、大きくなる時代になってくると思います。そうなりますと、子供は、部活動は一生懸命頑張るが、勉強がおろそかになり、学校の成績は関係なくなるという問題が出てくると思います。スポーツ庁は、この問題を考えなくてはいけないと思います。

増田委員 スポーツ推薦では、教員の影響力があると思います。ですから、教員の指導の方向性をきちんと定め、学校経営の中にどう参画させるかという視点で、研修をしていかないと難しいと思います。

飯野委員 教員が、保育から学校そして生涯学習、全てにおいて人が足りないと思いますが、差し当たっては、少人数学級講師や、スクール・サポート・スタッフが足りているのか心配なのですが、今の状況はいかがでしょうか。

西山教育長 人は、不足をしています。教員養成課程を受ける学生がいません。今の大学生や高校生は、教員は大変だという発想です。そこで大事なことは、学校の先生は、授業を教え、生き方を教え、こんなに面白い職業はないということが、伝わることだと思います。今、教員の時間外勤務について、盛んに話題にあがっていますが、今まで部活動でとっていた時間がなくなってきましたので、そうすると、それほど大変な仕事ではないと認識がされ、もちろん処遇面も改善されていくので、見方も変わってくると思います。そうなりますと、教員養成課程を受ける学生が増え、よい循環に切り替わっていくと思います。今が、その節目ではないかと考えます。本来の教員の楽しさや、面白さ、生きがいということに、目が向けられるようになります。今後は、定年が延長すると思います。65歳まで定年が延長すると、退職金が変わってきます。おそらく国の考える退職金の試算は、60歳までの勤務年数で試算をして、退職金を渡す時期を65歳に設定するという考えだと思います。また、60歳から65歳の間で辞めた時は、自己都合退職になりますので、退職金がいよいよ減る。そうすると、国の財源が楽になることを含めて、教員の処遇が改善されていくと思います。

飯野委員 長欠児童の資料を見ますと、家庭の問題もあると思いますが、学校教育の範囲では収まらず、子ども支援課や民生委員の方の協力を得て、対応をしているケースもあると思いますが、子ども支援課の役割は大きい部分があるのではないかとと思うのですが、いかがですか。

西山教育長 そうだと思います。子ども支援課が教育委員会にいるおかげで、助力を頼みやすいですし、義務教育ではありませんが、子ども支援課も問題意識を持っていて、教育委員会全体で見守っていかうとしています。今後も、教育委員会全体で、状況を把握していければ、さらに行政的な手立ても有効に実施できると思います。

鈴木課長 議事に入る前にお諮りいたします。報告第18号、報告第19号、議案第26号は公開で行いますが、議案第25号は人事に関する案件であり、また、「教育行政の執行状況に関する点検評価報告書」につきましては、議会への報告事項案件であることから、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条第7項の規定に基づき、非公開で行いたいと思いますが、いかがでしょうか。

全委員承認

議事

(公開審議)

西山教育長、報告第18号「蓮田市部活動指導員要綱について」を報告する。

高月課長、朗読及び報告理由の趣旨説明を行う。

西山教育長、報告第19号「蓮田市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業者並びに特定子ども・子育て支援施設等の確認等に関する規則の一部を改正する規則について」を報告

する。
田中次長、朗読及び報告理由の趣旨説明を行う。

(非公開審議)

西山教育長、議案第25号「蓮田市立小・中学校の学校医等の公務災害補償認定委員会委員の委嘱について」を提案する。

高月課長、朗読及び提案理由の趣旨説明を行う。

採決の結果、委員総員の賛成で議案第25号を原案のとおり可決した。

(公開審議)

西山教育長、議案第26号「蓮田市総合市民体育館設置及び管理条例施行規則の一部を改正する規則について」を提案する。

山田次長、朗読及び提案理由の趣旨説明を行う。

採決の結果、委員総員の賛成で議案第26号を原案のとおり可決した。

(非公開審議)

令和2年度教育行政の執行状況に関する点検評価報告書（原案）について、事務局からの説明の後、各委員による協議がなされた。

西山教育長の閉会宣言で第9回定例会は閉会となった。

閉議 午前11時57分